



2026 年 4 月 23 日

農林中央金庫

業界横断で食料安全保障と食農産業の発展を目指す 「次世代アグリビジネス協議会」への参画について

農林中央金庫（代表理事理事長：北林 太郎、以下「当金庫」）は、日本の食料安全保障および食農産業の成長に貢献することを目指し、本日株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長 グループ CEO：中島 達）、株式会社三井住友銀行（頭取：福留 朗裕）、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：内川 淳）によって設立された「次世代アグリビジネス協議会」へ参画しましたので、お知らせいたします。

■ 背景

わが国の農林水産業を取り巻く環境は、農地・担い手の減少・生産資材価格の高止まり、緊迫化する国際情勢など、様々な課題に直面しています。

こうした状況の中で、JA バンク・当金庫は農業分野への融資等の金融機能の提供だけでなく、担い手の経営課題解決に向けた担い手コンサルティング等、農業金融の枠を超えた役割も果たすべく取組みを強化することとしております。

「次世代アグリビジネス協議会」は農業法人、食・農にかかわる民間事業者全般、金融機関、自治体などが、主にコメをはじめとする土地利用型作物を対象に、規模拡大や経営高度化に伴う課題の解決に資する支援サービスの検討と実装、および政策・制度提言などの情報発信を行う協議会として、本日、設立されました。

当金庫は、「強靱で持続可能な食料システムの確立」に向け、本協議会とも連携し、食農分野の課題解決に取り組めます。

■ 参画の狙い

1. 地域の生産基盤を「守り、つなぐ」ことへの貢献

生産者の規模拡大や経営高度化に伴う成長は、新規就農者や農地の受け皿になり得るなど、地域の生産基盤を「守り、つなぐ」ことにつながります。

JA バンク・当金庫は、全国の生産者との取引を通じて、地域ごとの営農実態や農地・担い手の課題に向き合ってきました。こうした現場に根差した知見を踏まえ、生産者の経営や意向を十分に尊重しつつ、地域農業の持続性向上につながる取組みを後押しします。

2. 既存の生産基盤との調和を前提とした農業法人の成長支援策の強化

これまで JA バンク・当金庫では生産者の成長段階に応じた資金供給、経営助言などの成長支援に向けた知見を積み上げてきました。

協議会を通じて、これらの知見を本協議会の会員をはじめとする他団体・組織の専門性と掛け合わせることで、経営規模拡大を志向する農業法人の財務基盤の安定化・収益性向上や、既存の生産基盤との調和のとれた地域農業の活性化に対して、より実効性の高い形で貢献していきます。

3. 次世代農業を支える新たな支援モデルの構築

生産性向上に資するスマート農業や新技術の実証、輸出を含む販路拡大、農業経営人材の育成といった分野については、単独の取組みにとどまらず、生産から加工・流通・販売・消費に至る食農バリューチェーン上の他企業・組織との連携のなかで検討・実装していくことが不可欠です。

JAバンク・当金庫が食農分野で培ってきた知見を踏まえ、本協議会の会員をはじめとする他企業・組織の事業共創力と連携することで、次世代農業を支える新たな支援モデルの構築を検討していきます。

■ 今後の展望

当金庫はパーパス（私たちの存在意義）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」と定めています。このパーパスのもと、様々な企業・組織との連携を通じて、農林水産業者の協同組織を会員とする金融機関として、これからも食農バリューチェーン全体での課題解決に取り組んでまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班
（藏方、丹羽） Tel: 03-6362-7172